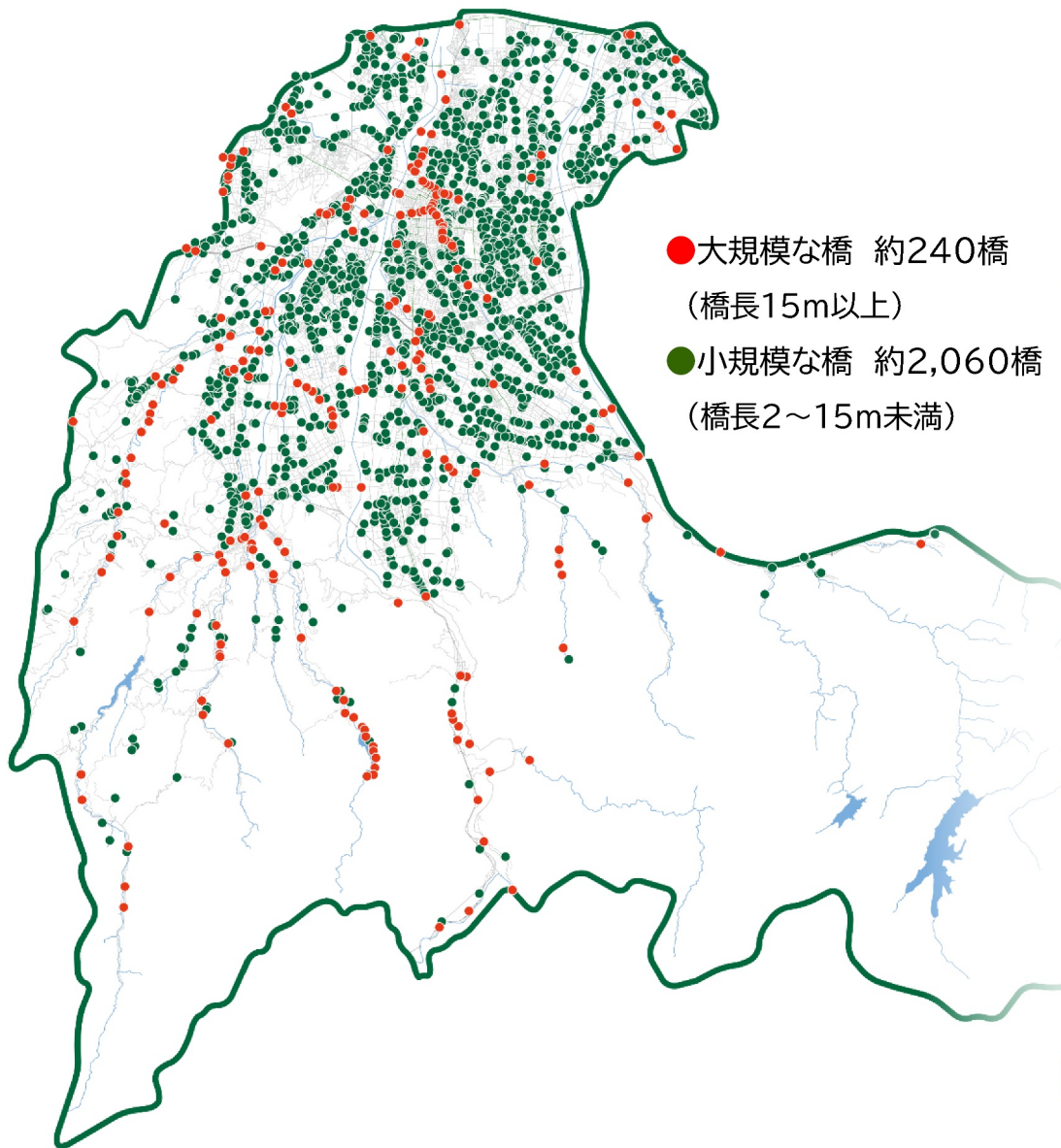


持続可能な橋梁マネジメントの実現に向けて
～橋梁トリアージに基づくメリハリのある対応～

TOYAMA CITY

富山市には約2,300の市道橋があります

形や大きさは多様で、日常生活や都市活動を支えています。



長い橋 / 470m



宿坊大橋
(山田宿坊)

短い橋 / 2m



長沢1号橋
(婦中町長沢)

高齢の橋 / 90歳



合口橋
(開)

若い橋 / 4歳



速星3号橋
(婦中町速星)

特殊な構造の橋 /
鋼ランガー橋



神峡橋
(猪谷)

特殊な構造の橋 /
ポ-外ラ-ンプビ-ム合成桁橋



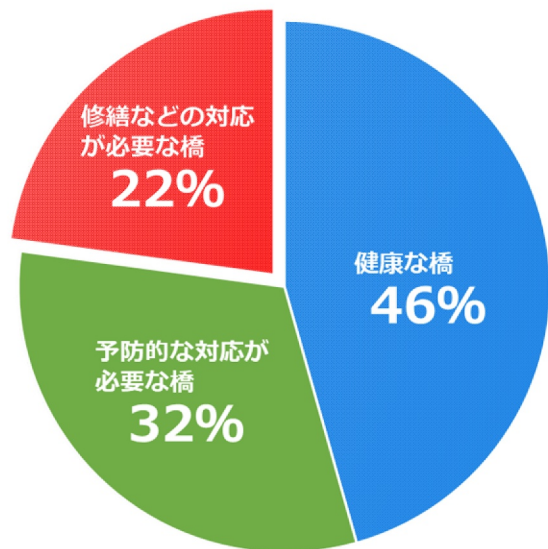
八田橋
(永楽町)

※橋齢は2024年時点

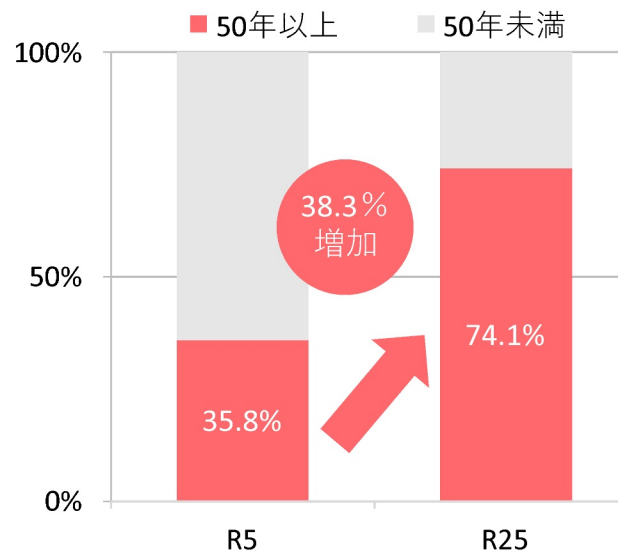
橋の老朽化は日々進行しています

修繕などの対応が必要な橋は全体の約2割。そして、20年後には建設から概ね50年を迎える橋が約7割まで増加します。

【橋の健康状態の割合】
(面積ベース)



【橋の老朽化の推移】



鋼部材の腐食・孔食



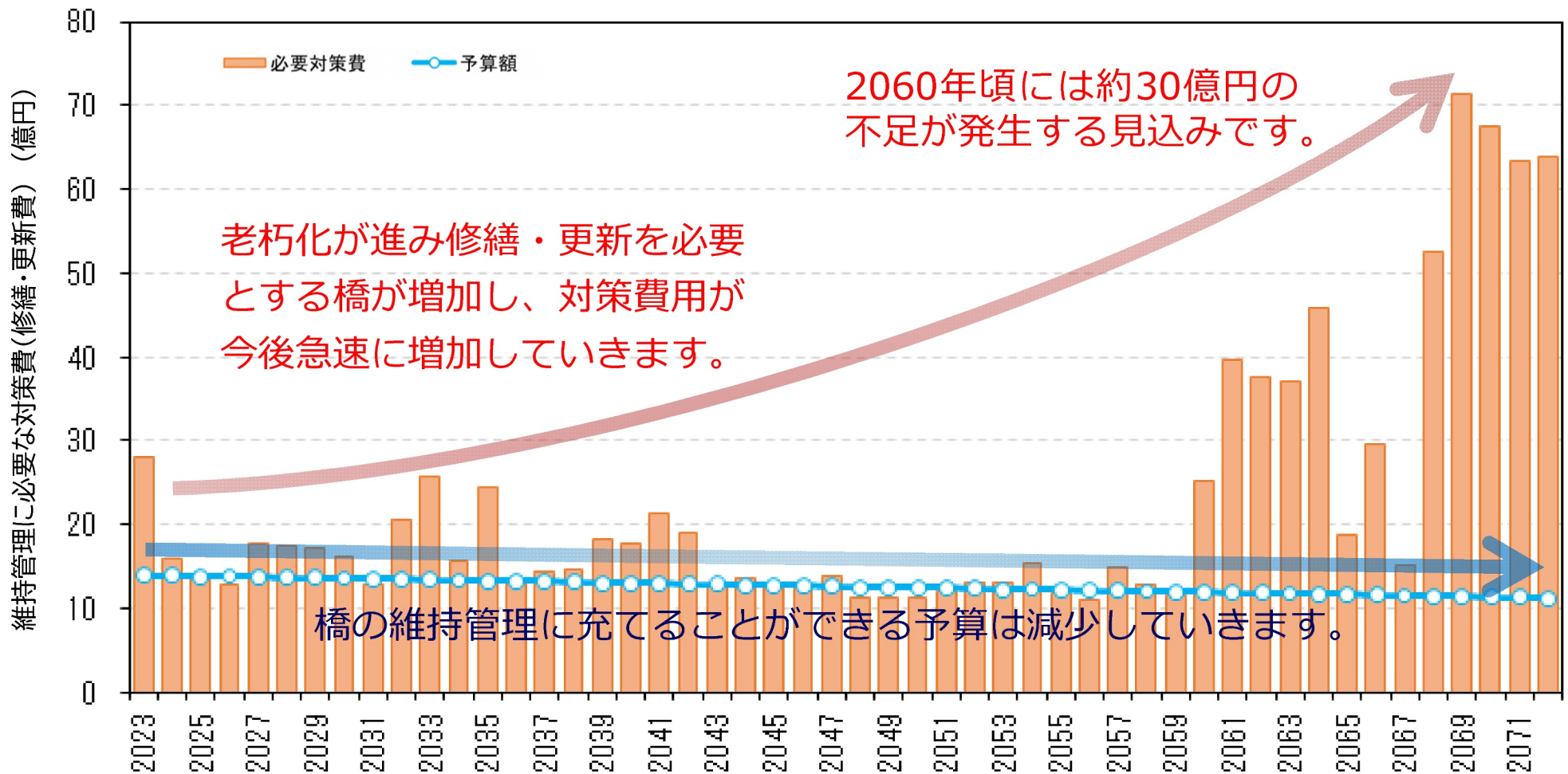
コンクリート桁のひび割れ



コンクリート床版の鉄筋露出

橋の維持管理には多くのコストが必要です

老朽化が進行した橋の修繕や更新に必要なコストが、2060年（概ね40年後）から急速に増加する見込みです。



各年度における必要な対策費(修繕・更新費)の試算(推計)

持続可能な橋梁マネジメントを推進します

限られた予算や人員等で、より多くの橋を将来に引き継ぐためには、修繕や更新、使用制限、集約化・撤去を含めた対応が必要です。

橋梁トリアージに基づく選択と集中によるメリハリのある対応

- 道路や橋の役割や位置づけ、健全性などを評価し、重要性の高い橋は優先的に対策
- 緊急性や損傷状態に応じて、重量制限や通行止めなどの使用制限により安全性を確保
- 社会経済情勢の変化に伴い、必要性が低下した橋は集約化・撤去も含めた対応を検討



修繕



更新(架け替え)

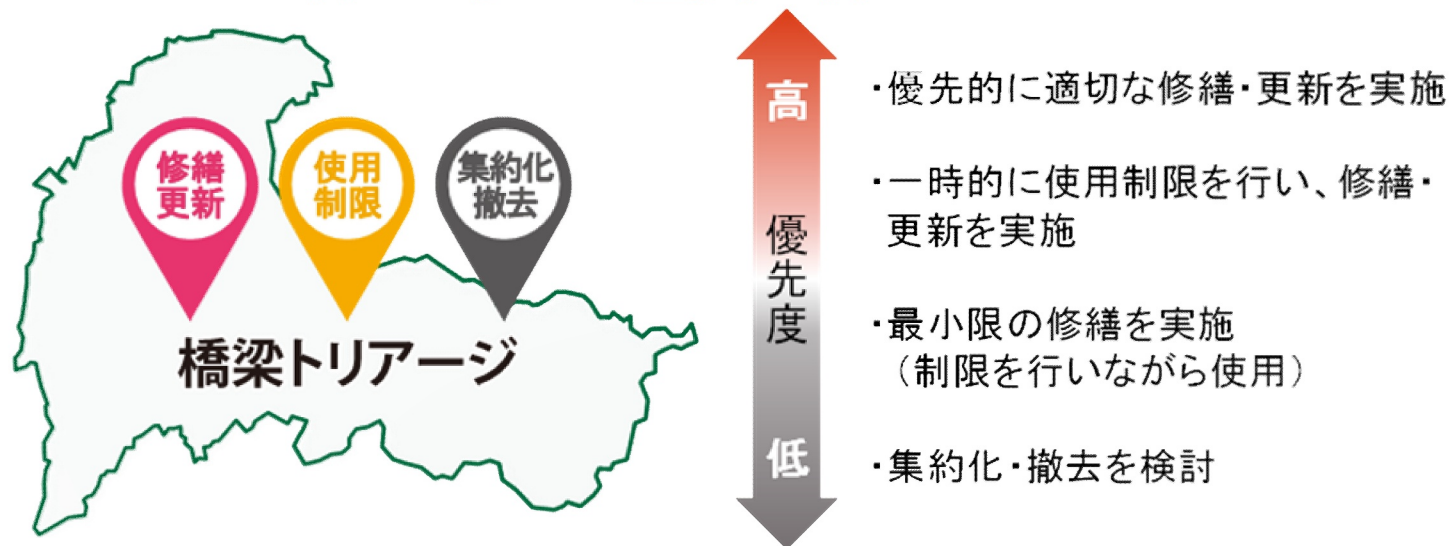


重量制限などの使用制限

橋梁トリアージに基づき優先度を設定します

橋梁トリアージでは、道路や橋の位置づけや役割などの「社会的な性質」、健全性や構造、維持管理性など「技術的な性質」を評価し対策の優先度を設定します

- 橋梁トリアージは持続可能な橋梁マネジメントを推進する施策の一つ
- 限られた資源で**1橋でも多くの重要な橋をまもる**(≠ 撤去の推進)



社会的性質

道路の役割や位置づけ等を評価
→ 4つの区分に分類 (管理区分A~D)

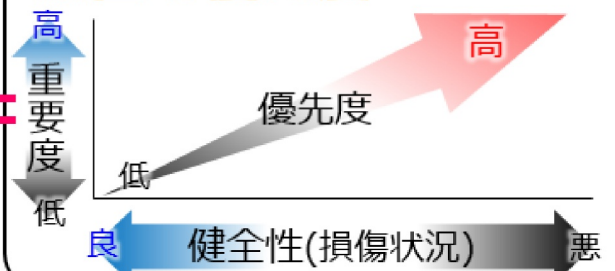


技術的性質

橋梁の健全性や構造の特殊性等を評価

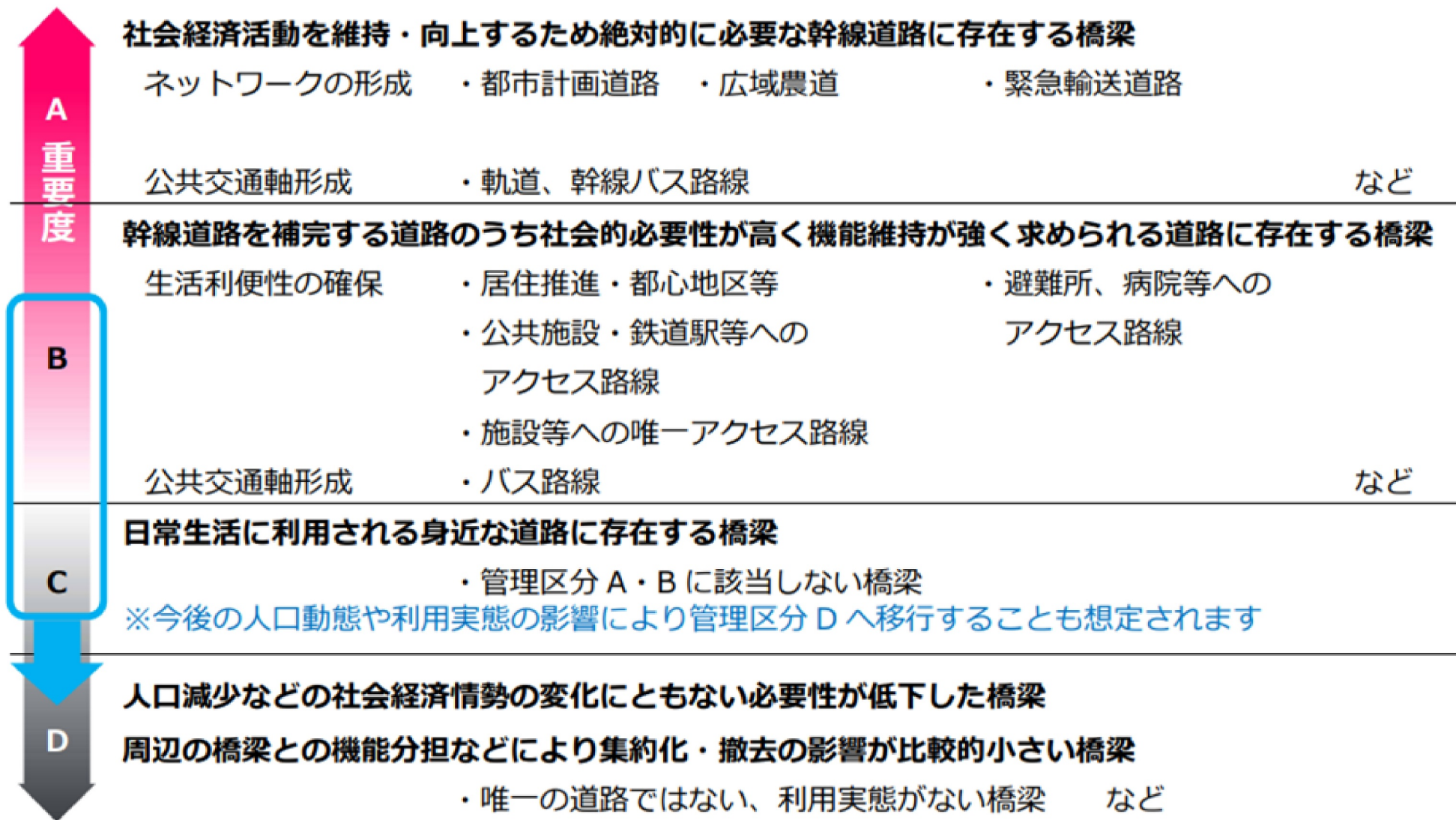


措置の優先度



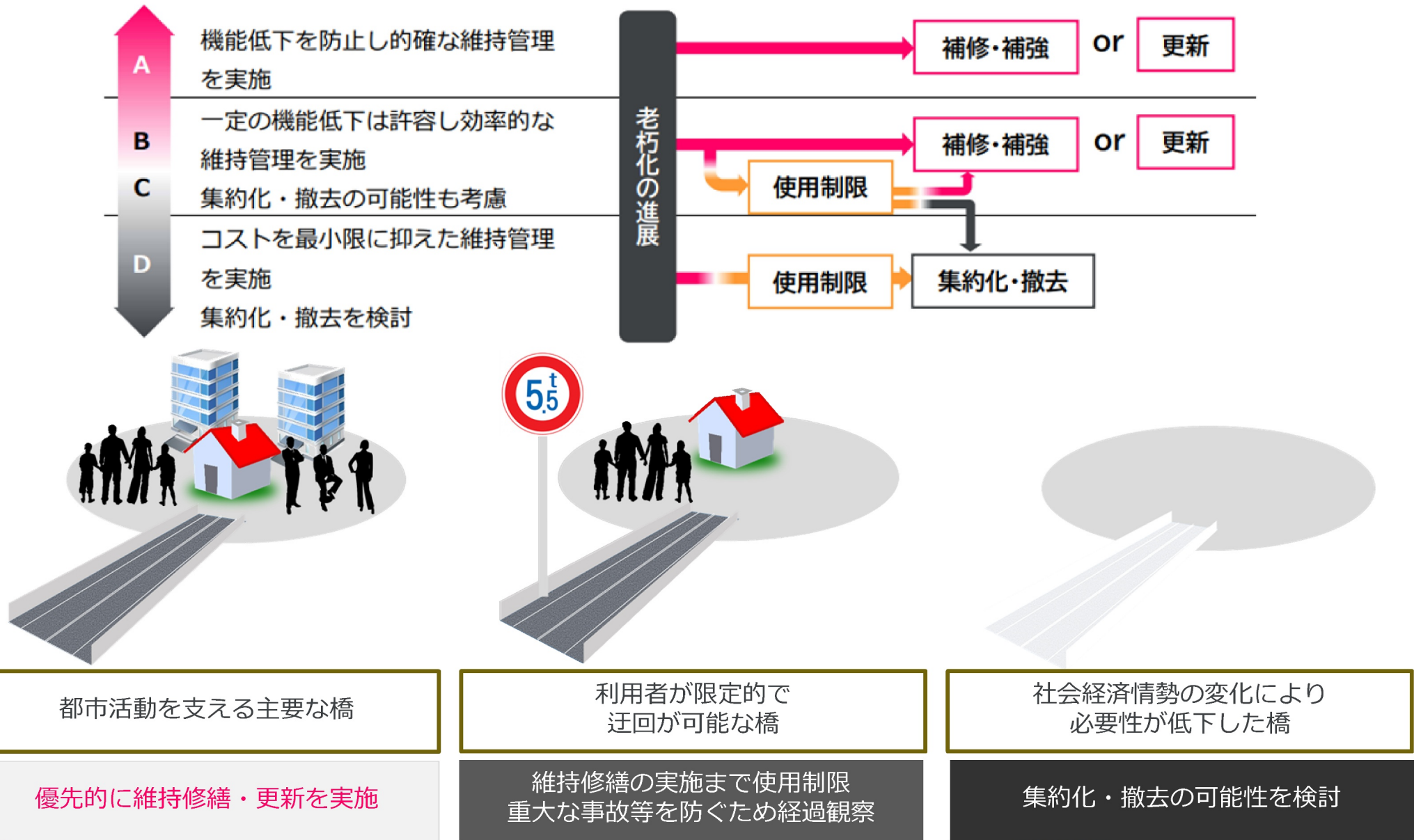
すべての橋に管理区分を設定します

道路や橋の役割や位置付けにより橋を評価します。



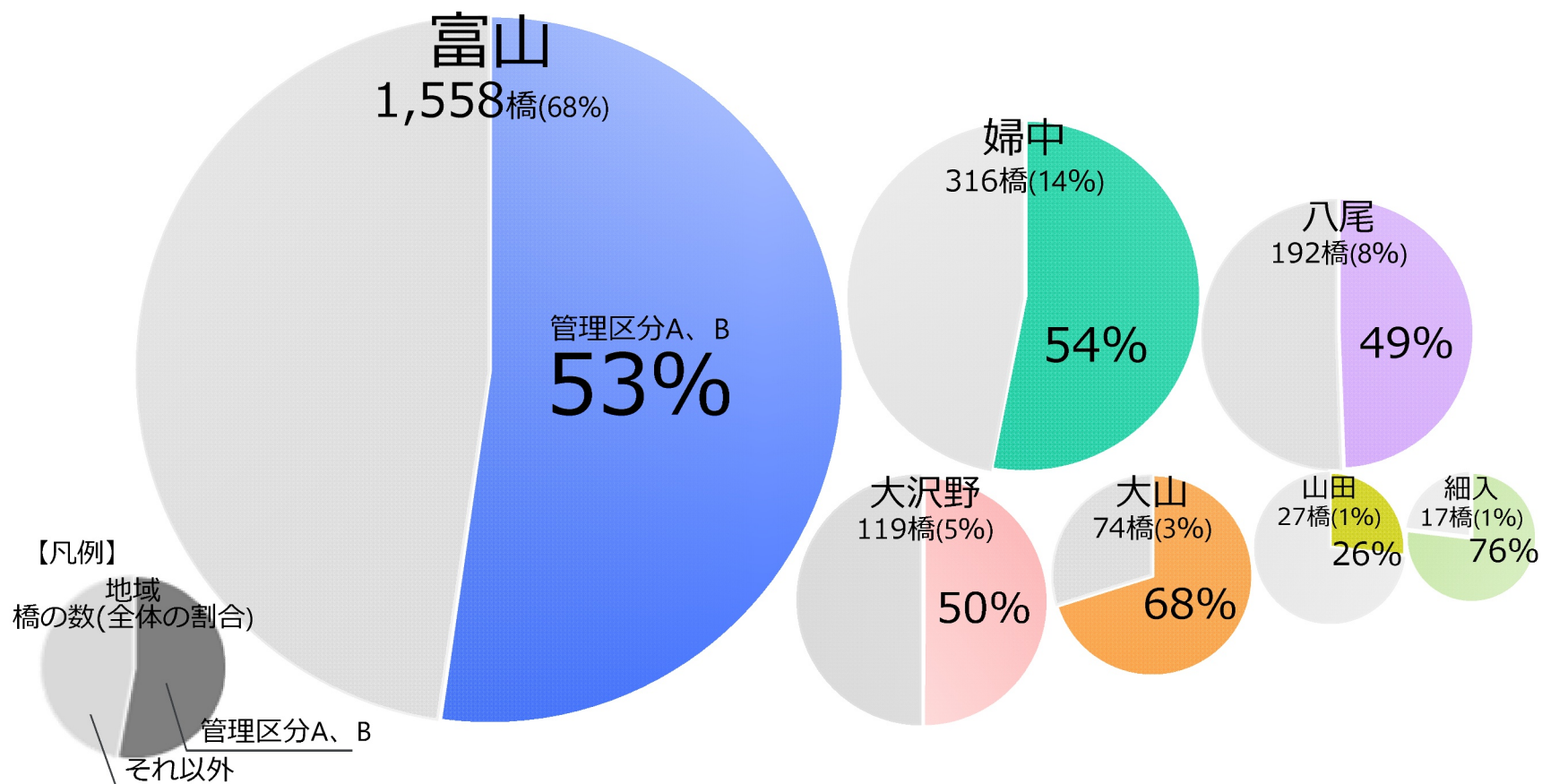
管理区分に応じた管理水準を設定します

修繕や更新のみならず集約化・撤去の可能性も考慮します。



市域全体を見渡したマネジメントを推進します

- まちなかや中山間地に関わらず、日常生活や経済活動を営む上で必要性の高い橋は、適切な修繕や更新を積極的に実施
- 修繕等が追い付かない場合は、安全な通行を確保するため使用制限を行い、また、必要性が低下するなどした橋は集約化・撤去を含めた対応を検討



持続可能な橋梁マネジメントの実現に向けて

必要な橋を健全な状態で「将来市民に引き継ぐ」ために

私たちの生活を支える「橋」は、日々老朽化が進行していきます。人口減少や高齢化が進むこれからの社会において、修繕や更新、使用制限や集約化・撤去などのメリハリのある対応は、将来世代に過度な負担なく健全な橋を引き継ぐことにつながると考えています。

私たちは持続可能な都市経営の実現に向けて、市民の皆さまのご理解とご協力を頂きながら、持続的かつ適正な橋梁マネジメントを推進してまいりたいと考えています。

